

ふぁみ・さぽミニ通信

日頃、津山ファミリー・サポート・センター事業に対し、ご理解ご協力ありがとうございます。
先日あるテレビ番組で、母親の子育ての苦悩を科学的に分析した興味深い内容のものがありません。普段、ファミ・サポでも「子育てのイライラ」や「核家族による母親の孤立」などの話題が出ますが、ある統計によると、子育て世帯の8割が核家族であり、そのうち、出産後の母親の7割が孤独や不安を感じているということです。研究により、長い歴史の進化の過程で獲得した脳の機能などによるものらしいということでした。産後の母親の不安や孤独が、単に母親のその場の気分によるものではないことを知る機会になりました。

難しい話はさておき、産後うつや虐待・ネグレクトを防ぐためにも、出産後や子育て中の母親に対する理解が社会的に認識され、周囲の人々の温かい眼差しが得られることを望みたいものです。そのためにもファミ・サポを知っていただき、ご理解のうえ活用いただきたいと思います。

行事報告

平成 27/12/19

<交流会> クリスマス交流会

人形劇サークル「くれよん」による「オオカミと7匹の子ヤギ」のハラハラ、ドキドキのシーンに食い入る視線の子どもたち。一転して、トーンチャイムの澄んだ音色の演奏に参加者はほっとさせられました。



また、依頼会員の北野フィニさんと仲間の皆さんによる、バリ島のダンスやインドネシアの皿踊りは、音楽や民族衣装の美しさも魅力的でした。

最後は、お待ちかねのサンタさんからのプレゼント。受け取って喜ぶ子どもたち、サンタさんとも記念写真をパチリ。笑顔いっぱいの会でした。



平成 27/11/29 <共催講演会> 人権を考える市民のつどい

『『生きている』幸せを感じて』 講師：道志 真弓さん（元フリーアナウンサー）

不妊治療を経て授かった長女が、世界で数十例の染色体異常と診断され、余命1ヵ月と宣告されたが、8年8ヵ月を家族と共に懸命生き抜いた。娘との笑顔の絶えない日々を通し、生きていることがどんなに素晴らしく幸せなことかというメッセージを受け取った。

聞いている者を重苦しくさせず、エピソードを交えた、「生命」の大切さを再確認できる講演でした。

